

# 広島県中小企業団体中央会 2018年5月分情報連絡一覧表

## 食料品

### ●食料品

#### 中国醤油醸造協同組合

5月の出荷量は前月比17.3%増加、前年同月比27.8%増加となり、売上高は前月比13.3%増加、前年同月比20.8%増加となった。

## 木材・木製品

### ●木材・木製品

#### 広島県木材協同組合連合会

##### <全国>

- ・平成30年4月の全国の住宅着工戸数は84,226戸で前年同月比0.3%増加
- ・季節調整済年率換算値では99.2万戸(前月比10.9%増加)
- ・利用関係別では、持家は23,289戸で前年同月比1.9%減少、貸家は35,447戸で前年同月比2.1%減少、分譲住宅は24,904戸で前年同月比5.0%増加
- ・木造住宅の着工数は45,213戸で前年同月と変化なし
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で9か月連続の減少から10ヶ月振りに増加に転じた

##### <広島>

- ・広島県内の4月の着工戸数は1,655戸で前年比9.1%減少、このうち持家は416戸で前年比5.2%減少、貸家は723戸で前年比2.6%減少、分譲は516戸で前年比19.4%減少
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で先月の増加から再び減少に転じ、昨年後半から繁忙を極めてきたプレカットも勢いはなく採算も悪化
- ・地域別では広島市が着工戸数930戸で2.0%増加、東広島市が108戸で3.8%増加、尾道市が64戸で23.1%増加となった一方、福山市は302戸で0.7%減少、呉市は53戸で70.2%減少、廿日市市は46戸で50.5%減少と地域ごとにばらつきがある結果となった。全体としては全国的に不需要期の中で、新年度予算執行への期待感もあるが、将来的に住宅着工戸数の減少が予想される中、経営規模や業態によって景況感に偏りがある

#### 福山木材協同組合

今後の見通しとしては、期待を込めて上昇としているが、先行きは不透明である。

## 印刷

### ●出版・印刷・同関連

#### 広島県印刷工業組合

昨年と比較すると業界全体の景況は悪化している。

要因としては、顧客の景況感が悪化し、それに伴い経費削減や新たな投資を控える傾向にある。また、SNSやインターネット等、顧客の価値や情報を伝える方法が多様化していることも大きい。

## 化学・ゴム

### ●工業用ゴム製品

#### 中国ゴム工業協同組合

引き続き、高操業の状況にあるが、人手不足が深刻化している。

国として、労働人口減少が継続してゆく中で、新たな外国人労働者に対する規制緩和策を検討してもらいたい。又、来年度の消費税率引き上げ後の経済失速が懸念され、現在進行している米中における貿易戦争及びトランプ政権の貿易赤字縮小を目的とした様々な政策が今後我々の経営環境に重大な影響を与える可能性もある。これらのことから、現在、積極的な投資は国内においては出

来ない。さらに、原油コスト上昇による原材料価格の上昇も大きな課題となりつつある。

### ●プラスチック製品製造業

#### 広島県プラスチック工業会

売上は、全体的に各社良い状態で横ばい傾向にある。

樹脂原材料の値上げが始まっており、収益悪化が懸念される。

### 窯業・土石製品

#### ●窯業・土石製品

##### 広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

30年5月 2,874m<sup>3</sup> (前年比18.8%減少)

30年4月 2,603m<sup>3</sup>

29年5月 3,247m<sup>3</sup>

### 鉄鋼・金属製品

#### ●鉄鋼業

##### 軋鉄鋼協同組合連合会

団地外の取引先から空き倉庫・空き工場の問い合わせがあったが、現在当団地内には紹介可能物件はない。組合員が貸倉庫事業を行っているが、2年ほど前からは常にいっぱいである。

##### 広島県鋳物工業協同組合

原材料、副資材の高騰を受け、価格引き上げ交渉を進めた結果、徐々に収益改善に繋がっている。

### 一般機器

#### ●一般機械器具

##### 広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、来月に仕事のずれ込みが出たため、前月比17.0%減少、前年同月比変化なしとなった。

国内の工作機械業界の受注総額は、6ヶ月連続の1,500億円超(4月確報)となった。

##### 出島工業会協同組合

組合員の売上は、若干増加している。

組合の喫緊の課題としては、役員の高齢化、世代交代である。

### 電気機器

#### ●電気機械器具

##### 広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

今月は、国内の売上が前月比11%増加、輸出が5%増加と貢献し、前月比9.17%増加、前年同月比5.71%増加となった。

### 輸送用機器

#### ●輸送用機械器具(自動車)

##### 東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客(マツダ)の下記業況に比例している。マツダの国内生産台数が継続して高レベルにあるため、好況を維持

- ・5月の国内自動車販売台数は全需が372千台、前年同月比0.2%減少と2ヶ月振りの前年割れ。登録車は前年比0.6%減少と2ヶ月振りの前年割れ、軽自動車は0.6%増加と2ヶ月連続の前年超え。マツダ車は24.1%増加と3ヶ月連続の前年超え
- ・アメリカの4月の全需は1,354千台で前年同月比5.0%減少と2ヶ月振りの前年割れ。マツダ車も同4.6%減少と4ヶ月振りの前年割れ
- ・欧州の4月の全需は1,544千台で、前年同月比8.7%増加と2ヶ月振りの前年超え。マツダ車も同15.9%

増加と7ヶ月連続の前年超え

- ・中国の4月の全需は2,136千台で、前年同月比2.5%増加。マツダ車は同7.7%増加と2ヶ月振りの前年超え
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の4月の海外販売合計台数は111千台、前年同月比5.3%増加と4ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの4月の輸出動向については、輸出台数は前年比4.6%増加と4ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの4月の国内生産台数は、前年同月比10.5%増加と2ヶ月振りの前年超え

### ●輸送用機械器具（造船）

#### 中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成30年5月の船舶建造許可実績は3隻332,000総トン（前月1隻151,000総トン、前年同月2隻298,000総トン）であった。なお、全てが輸出船でこのうち貨物船が2隻、油槽船が1隻であった。

#### （一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

### その他

### ●家具・装備品

#### 広島家具工業協同組合

既存専門店の売上は悪く、前年比減少してる。ハウスメーカーの催事が好調であるため、今後もハウスメーカーへの対応で売上減少に歯止めをかけたい。今後も売上は、横ばいもしくは下降が予想される。

今期の学習机は、主要メーカーのコイズミ、イトーキ等がオリンピック需要に対応するため例年8月に開催する展示会を5月に前倒ししている。

資材の値上げを心配している。また、グリーンウッド法施行後も違法材が流通しており、適正使用している事業者にとっては手続きの煩雑さと費用がかさむだけで、法制定の趣旨が徹底されていない。

### 卸売業

### ●卸売業（総合）

#### 協同組合広島総合卸センター

百貨店業界は売上減少が続いており、売り場面積の縮小により卸業者の百貨店売り上げは減少傾向にある。

「資材関連」においては、民間・公共工事共に緩やかに受注回復が見込まれる。

「雑貨」においては、日用雑貨は販売苦戦中、紙卸も売上・収益共に厳しい。

「食品」においては、外食産業向けは前年比減少傾向が継続している。

石油製品の値上げと、運賃値上げの影響から全般的に収益状況は厳しい。

働き方改革は、中小企業にとっても重要ではあるが、早急には取り組めていないのが実情で、組合員向け研修等を実施していく予定である。

### ●卸売業（食料）

#### 広島県東部食糧協同組合

米、燃料の売上は変化なし。食料品（砂糖、雑穀、小麦等）の売上がGW明けから減少している。今月が悪かった分、来月は持ち直す予想である。

### ●卸売業（電設資材）

#### 広島県電設資材卸業協同組合

広島県の3月の着工状況は、前年比15.2%増加。内訳としては、持家が4.1%減少、分譲は3.3%減少、貸家が46.4%増加。

各種素材の高騰、物流費用の上昇により、メーカーから価格改定の話が出ている。

#### ●卸売業（家具）

##### リビズ株式会社

廃業のため、5月末で1社、7月末で1社退会。又、店舗返却のため、5月末で1店舗閉店した。

#### ●卸売業（畳・敷物）

##### 広島県畳製品商業協同組合

各地で展示会等を行い、販売促進に努めている。しかし、需要が伸びないのが実情である。

建築様式の変化や消費者ニーズが「和」から「洋」に変化している。特に若者には、日本の畳文化が希薄になっているようである。また、新築住宅での畳の部屋は多くても一間である、和室のない新築物件も多く見られる。

そのようなことから、国産畳の需要が伸びない中で、販売も伸びない。さらに、製織は梅雨を控え、一服している。

国産表の薄商い、中国産表も動きはゆるやか状況で、活気が不足している。価格についても対前月比変化なし。梅雨明け後に期待している。

#### 小売業

#### ●各種商品小売業

##### 協同組合三次ショッピングセンター

売上は前年同月比変化なし。小売りは売上が減少しているが、飲食業は増加している。

##### 広島生鮮三品連絡協議会

大型商業施設で開催される週末イベント等でのまとめ買いの影響で、一般小売店の月曜日の売上が下降気味である。

政府の方針として、生産者から実需者へ直接取引が推奨されているが、物流の効率は市場経由の方が優れているため、実需者に有利な状況にはなっていないと思われる。

鮮魚販売業者は、水産物全般の相場高と求人難による人件費の高騰により収益悪化が懸念される。

#### ●家庭用電気機械器具小売

##### 広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比4.2%減少となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比9.8%減少、冷蔵庫同5.2%減少、洗濯機同1.2%増加、IHクッキングヒーター同10.4%減少、エアコン同2.2%増加となった。

#### ●その他の小売業（燃料）

##### 広島県石油商業組合

3年5ヶ月ぶりに高値で推移している原油価格。当然、仕入価格も上昇し続けている中、小売価格に転嫁できていないようである。資金繰りの悪化が予想される。

#### 商店街

#### ●商店街（各種商品小売業）

##### 呉本通商店街振興組合

3月に開催した第1回まちゼミの反省を踏まえ、次回10月に第2回を開催することとした。今のところ、各店のまちゼミ後の業況に特に大きな変化はない。

##### 広島金座街商店街振興組合

ジアウトレット広島の影響か、人出はあまり変わっていないが、売上は対前年比減少となった。

#### サービス業

## ●自動車整備業

### 広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比12.5%減少、前年同月比1.1%増加。車検場収入は前月比8.7%減少、前年同月比5.2%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比0.2%減少、前年同月比1.8%減少となっている。

前月比の減少は、5月の連休による稼働日数減少等、季節的要因である。

## ●広告業

### 広島県広告美術協同組合連合会

5月は閑散期ではあるが、例年に比べると上向いた。

依然として人手不足、高齢化及び後継者不足による廃業が増えている。

## 建設業

## ●工事業

### 神辺建設業協同組合

新年度の大型工事案件の発注は見られるが、中小向けの工事案件が未だ乏しく、前年度からの官庁発注の繰越工事と民間工事で各社繋いでいる。早期の工事発注が望まれる。

### 広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目について、今月は前月比24.5%増加、前年同月比14.2%減少した。

前年累計比でも27.4%減少と大きく前年割れしている。敷物だけが順調に伸びている。

### 福山地区電気工事業協同組合

5月の工事申込件数は、前年同月比10%減少。累計では、4月の増加分により横ばいとなっている。電気工事業界は不景気が続いている。

来年10月に消費税が10%に引き上げされる予定である。その駆け込み需要が若干見込めるが、それまでは上昇のきっかけが見当たらない。その駆け込み需要も一時的なものであると予想される。

## 運輸業

## ●道路貨物運送業

### 協同組合尾道地区総合トラックセンター

稼働日数が少なかった割には、前月比に大きな変化はなかった。建設、建材関連輸送は引き続き順調である。

燃料価格の急激な上昇による収益悪化が懸念される。

### 広島輸送ターミナル協同組合

原油価格が高騰しており、5月の軽油価格上昇幅が非常に大きく、収益が悪化している。

### 松永地区トラック事業協同組合

5月の貨物輸送量、売上高は、前月比減少、収益状況は前月よりさらに悪化している。

荷主より毎日定期的に輸送要請がある場合、計画的に対応できるが、突発的な依頼は、運転手不足により対応しきれない場合もある。

収益の悪化は原油価格の高騰によるものである。中東情勢の不安や原油国の減産もあるが、世界経済が好調で、原油需要が高まっていることも要因である。軽油単価は昨今で一番高く、今後も2014年頃の単価まで上昇するのではないかと不安視している。

## ●水運業

### 全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

内航輸送に関して、対累計前年比では、特に大きな変化はない。

## その他

### ●不動産業

#### 広島県不動産評価システム協同組合

4月は公的評価の入金があったが、5月は連休等により収入減となっている。

マンション販売において、高額物件(4,000万円以上)の売れ行きが鈍化している。